

# 令和2年度 佐伯市立八幡小学校 グランドデザイン

## 学校教育目標

確かな学力と豊かな心を身につけ、何事にも自ら考え行動できる子どもの育成

### めざす子ども像

#### やさしい子ども(豊かな心の育成)

- ・元気で気持ちのよいあいさつができる子ども
- ・自分も相手も大切に作る子ども
- ・相手の立場を理解し、行動する子ども

#### はげみ学び合う子ども(確かな学力の育成)

- ・自分の考えを発表し、人の話を聞き、考えを深める子ども
- ・互いの良さを認め合い、協力し合う子ども
- ・課題に向かって、粘り強くやり抜く子ども

#### たくましい子ども(健やかな体の育成)

- ・いろいろな運動に進んで挑戦する子ども
- ・健康安全に気をつけ、生活する子ども
- ・早寝早起き朝ご飯を実践する子ども

### 生きて働く「知識・技能」の習得

#### 重点目標

学力の基礎・基本を身につけた児童の育成【知】

#### 達成指標

【知】

- 単元末テスト(国算理)の学年平均点
  - ・1～3年:85点以上
  - ・4～6年:80点以上
- 単元末テスト(国算理)の個人平均点
  - ・40点以下 0人
- 「漢字や計算などの勉強ができるようになった」
  - ・児童A評価80%以上



#### 重点的取組

- 学校
  - ・新大分スタンダードを基盤とした授業改善
  - ・授業力向上をめざした校内研修の実施
  - ・基礎・基本の定着をめざした、特設指導時間の実施
- 家庭
  - ・家庭学習の定着と支援
- 地域
  - ・学びの教室の実施



#### 取組指標

○学校

- ・授業者は、毎日、「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を設定した授業を行う。
- ・授業者は、毎日、努力を要する児童に対して、手立ての工夫を講じた授業を行う。
- ・研究主任を中心に、若手教員の授業力向上をめざした校内研修を行う。
- ・全教員で、八幡塾を毎週火曜日放課後に実施する。
- ・全教員で、スキルタイムを毎週金曜日の朝に実施する。
- 家庭
  - ・保護者は家庭学習定着週間を学期2回取り組む。
- 地域
  - ・地域の指導者が、学びの教室を毎週水曜日の放課後に実施する。

### 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等の育成」

#### 重点目標

自分の思いや考えをもち、互いに伝え合うことができる児童の育成【知・徳】

#### 達成指標

【知】

- 単元末テスト(国算理)の「思考・判断・表現」の観点評価
  - ・全学年A評価が70%以上
- 「自分の考えを発表したり、話し合ったりすることが好き」
  - ・児童A評価80%以上
- 【徳】
- 「あいさつができています」
  - ・児童A評価80%以上
- 「家庭であいさつがよくできている」
  - ・保護者AB評価90%以上

#### 重点的取組

- 学校
  - ・授業改善による深い学びの実現
  - ・資料から必要な情報を読み取り、根拠を表現する授業の実践
  - ・あいさつ運動の実施
- 家庭
  - ・家庭でのあいさつの慣行
- 地域
  - ・あいさつ・見守り運動



#### 取組指標

○学校

- ・授業者は、毎日、「主体的で深い学び」を設定した授業を行う。
- ・授業者は、各教科で資料から必要な情報を読み取り、自分の考えをまとめ、表現する活動を単元内で1回以上行う。
- ・児童会担当を中心に、児童会主催のあいさつ運動を毎月1回以上行う。
- ・小中一貫教育担当を中心に、彦陽中学校生徒会と連携したあいさつ運動を、学期に1回以上行う。
- 家庭
  - ・保護者は、毎日、子どもに対して「おはよう」等のあいさつをする。
- 地域
  - ・学校運営協議会は、学期に1回以上、朝のあいさつや交通指導について協議する。

### 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養

#### 重点目標

自ら課題を見つけ、課題解決に協働して取り組む児童の育成【徳・体】

#### 達成指標

【徳】

- 「地域の人材や素材を活用した体験活動を積極的に行っている」
  - ・教員AB評価90%以上
- 【体】
- 「チャレンジタイムで、目標が達成できた」
  - ・児童A評価90%以上
- 「早寝・早起き・朝ご飯ができています」
  - ・保護者AB評価90%以上
- 「お子さんは、徒歩通学ができています」
  - ・保護者AB評価90%以上

#### 重点的取組

- 学校
  - ・地域人材や素材を活用した学習の実施
  - ・縦割り班掃除の推進
  - ・チャレンジタイムの推進
- 家庭
  - ・早寝早起き朝ご飯の徹底
  - ・徒歩通学の徹底
- 地域
  - ・地域学習への授業支援

#### 取組指標

○学校

- ・授業者は、ふるさと創生として、学期に2回以上地域学習を実践する。
- ・教員は、毎週水金曜日に、縦割り班掃除を実施し、6年生を中心に協力して掃除ができるように指導する。
- ・体育担当は、担任と連携して、チャレンジタイムを実施し、児童が目標を達成できるよう指導する。
  - ・1学期は、体カテスト関連の運動
- 家庭
  - ・保護者は、毎日、「早寝・早起き・朝ご飯」を実践する。
  - ・保護者は、毎日、児童を歩いて登校させる。
- 地域
  - ・地域のゲストティーチャーは、毎月、2コマ以上、地域学習に参加する。

### 家庭との連携

- ・連絡、相談、報告を密にした関係づくり
- ・家庭学習、生活習慣の見届け
- ・保護者アンケートの実施(⇒分析⇒対応)
- ・PTA活動の充実

### 地域・CSとの連携

- ・地域人材、地域素材を活用した地域学習
- ・協育コーディネーターと連携した教育活動
- ・学校運営協議会での学校支援の協議と実践
- ・学校関係者評価の実施(⇒分析⇒対応)

### 八幡幼稚園・彦陽中学校との連携

- ・小中一貫教育の推進
- ・八幡幼稚園との交流活動
- ・幼小中合同の防災訓練の実施
- ・ふるさと創生事業の取り組み